

英語上級者への道～Listen and Speak

第6回 生態系の均衡を保つ

日本語訳

■Dialogue for Introduction

T: こんにちは、エドワード。会えたのはいいけど、私たちは出発しなくてはならないよ。30分後に列車が出るよ。

E: 待った、待った、待った！最後のモンスターをもうほぼやっつけてしまっているんだ。それ！もう疲れてよれよれのエイリアンめ！

T: やれやれ。ラップトップのパソコンでどんなゲームをやっているんだい？正直言って、ずいぶん古くさい技術の物に見えるけど。

E: その通り！そこが、こいつのいいところだ。スペースインベーダーだよ。このゲームをご存知かな？

T: いかにも、知ってるとも。スペースインベーダーは、西角友宏が1978年に考案したテレビゲームだ。もともと、ここ日本で作られていたんだ。ゲームセンター用のシューティングゲームの最初期型の一つだった。次々と出てくる宇宙人を負かすのが、目標だ。それはもう、すばらしいアイデアだった。危険な侵入生物をやっつけるのは、とても楽しいものだったんだ。

E: 待って！ピュン！やった！このラウンド終了だ！やれやれ。テツ、あのさ、実際は、侵入生物がどれほど有害なものかと言うことについては、論争があるんだよ。

T: あれまあ。君のあの有名な、今月の講座のトピックへのつながりが出たね。

E: その通り。議論の範囲が蛇から貝にまで広がる、とても興味深い分野の話だよ。

T: シーっ！秘密をもらさないで！みなさん、始める用意はいいですか？

E: 大丈夫なら、始めましょうか！

■Listen to the passage and answer the two questions that follow

生態系の均衡を保つ【2012-1 1st Part 2, C】

侵入生物種は、環境保護主義者の大きな関心事である。新しい生物種をある生息環境に移入することはしばしば、在来の動植物の絶滅の原因とされる。微妙に均衡を保っている生態系が破壊されることになるのだ。科学者たちは、たくさんの例を引き合いに出す。例えば、アメリカの五大湖でのゼブラ貝の異常発生や、グアム島におけるミナミオオガシラヘビが鳥類に与えた壊滅的な影響である。しかしながら、植物生態学者であるマカレスター・カレッジのマーク・デイヴィスは、環境保護主義者たちはしばしば、非在来種を有害かどうか決定することなく排除しようとしている、と考えている。彼は、それらの生物種を根絶するために使われる金を、どこからきたかに関係なく本当に害のある生物種を駆除するために使った方がよいだろうと主張する。

また、ほとんどの場合、アメリカで見つかった移入された生物種は、その悪評判に値するものではないと、デイヴィスは主張している。実際のところ、移入された生物種は、他の生物種に食料源を提供することで生態系に利益をもたらす、と彼は言う。さらに、生態系は広く信じられているよりもっと弾力的なものであり、たいていは新しい生物種を受け入れることができる、と彼は主張する。デイヴィスの考えを支持する声もあるのだが、多くの環境保護主義者からは反対されていて、この議論はまだ続きそうだ。

【質問】

次の二つの質問にそれぞれ 30 秒以内で教えてください。

No.1 マーク・デイヴィスは、環境保護主義者について、どんなことを信じていますか？

No.2 デイヴィスは、生態系についてどんなことを主張していますか？

■Let's study vocabulary and expressions

日本語を聞いて、エドワードのあとについてくり返してください。

1	侵入生物種	invasive species
2	生息地	habitat
3	微妙にバランスのとれた生態系	delicately balanced ecosystems
4	異常発生	plague
5	ゼブラ貝	zebra mussel
6	ミナミオオガシラヘビ	brown tree snake
7	取り除く、撲滅する	eliminate
8	絶やす、根絶させる	eradicate
9	～にかかわらず	regardless of～
10	～に値する	deserve
11	悪い評判	negative reputation
12	弾力的な	resilient
13	生活の場所を提供する、収容する	accommodate

■Listen to the passage and once more answer the two questions that follow

生態系の均衡を保つ【2012-1 1st Part 2, C】

侵入生物種は、環境保護主義者の大きな関心事である。新しい生物種をある生息環境に移入することはしばしば、在来の動植物の絶滅の原因とされる。微妙に均衡を保っている生態系が破壊されることになるのだ。科学者たちは、たくさんの例を引き合いに出す。例えば、アメリカの五大湖でのゼブラ貝の異常発生や、グアム島におけるミナミオオガシラヘビが鳥類に与えた壊滅的な影響である。しかしながら、植物生態学者であるマカレスター・カレッジのマーク・デイヴィスは、環境保護主義者たちはしばしば、非在来種を有害かどうか決定することなく排除しようとしている、と考えている。彼は、それらの生物種を根絶するために使われる金を、どこからきたかに関係なく本当に害のある生物種を駆除するために使った方がよいだろうと主張する。

また、ほとんどの場合、アメリカで見つかった移入された生物種は、その悪評判に値するものではないと、デイヴィスは主張している。実際のところ、移入された生物種は、他の生物種に食料源を提供することで生態系に利益をもたらす、と彼は言う。さらに、生態系は広く信じられているよりもっと弾力的なものであり、たいていは新しい生物種を受け入れることができる、と彼は主張する。デイヴィスの考えを支持する声もあるのだが、多くの環境保護主義者からは反対されていて、この議論はまだ続きそうだ。

【質問】

次の二つの質問にそれぞれ 30 秒以内で教えてください。

No.1 マーク・デイヴィスは、環境保護主義者について、どんなことを信じていますか？

No.2 デイヴィスは、生態系についてどんなことを主張していますか？

■Repetition and Interpretation Drill

英文がポーズ付きで読めます。また、日本語の訳が流れます。

1) ポーズの間に英語をリピートしましょう。きちんとリピートできるようになるまで何度も練習しましょう。

2) 聞きながら、ポーズの間に日本語に訳してみましょう。モデルの日本語が流れる前に、自分の訳を言い終えることができるように、何度も練習しましょう。

3) 英文が聞こえるのと同時に、シャドーイングをしてみましょう。さらにポーズの間に日本語に訳しましょう。

生態系の均衡を保つ

侵入生物種は、環境保護主義者にとって重大な関心事だ。

ある生息地に、新しい生物種を移入することは、

しばしば、在来動植物の絶滅の原因とされる。

こうしたことで、微妙に均衡が保たれた生態系が破壊されることになる。

科学者たちは多くの例を引き合いに出す。

例えば、アメリカの五大湖でのゼブラ貝の異常発生。

また、ミナミオオガシラヘビが、グアムで鳥類に与えた壊滅的な影響を引き合いに出す。

しかしながら、植物生態学者である、マカレスター・カレッジのマーク・デイヴィスは、

環境保護主義者は、よく、非在来の生物種を排除しようとする。

それらの生物種が有害であるかどうか決定することもなく。

彼は、次のように主張する。それらの生物種を根絶することに費やされるお金が、

本当に有害な生物種に対処するために使われた方が良いだらうと。

その生物種がどこから来ているかに関わらず。

デイヴィスはまた、次のように主張する。ほとんどの場合、アメリカで見つかる移入された生物種は、

その悪い評判に値しないと。

実のところ、彼は生態系にそれらの生物種が利益をもたらすと言っている。

他の生物種に食料源を提供することによって。

さらに彼は次のように主張する。生態系は、広く信じられている以上に弾力的である。

また、たいてい、新しい生物種を受容することができる。

デイヴィスの考えに対する指示が、いくらある一方で、

彼の考えは、多くの環境保護主義者によって反対されている。

そして、議論が続くであろうことは確実である。

■Model Answers

解答例を聴いて、自分の答えと比べてみてください。

T: さて、エドワード。君の答えを聞かせてくれるかい。1 番「マーク・デイヴィスは、環境保護主義者について、どんなことを信じていますか？」

E: 環境保護主義者たちは、侵入生物種による実際の害について、もっと注意深く調査すべきだ、と彼は考えている。

T: ありがとう。2 番「デイヴィスは、生態系についてどんなことを主張していますか？」についてはどうだろう？

E: 生態系は、実際のところ、科学者たちが以前考えていたよりもたくましいと、彼は信じている。

■Challenge 1

T: さて、エドワードがみなさんに質問します。答えてみてください。最低 30 秒間は話し続けてください。

E: 新しい種を異なる生息地に入れることは、生態系に対して悪い影響があると、多くの人々が考えている。そのような新しい種は、撲滅されるべきである。この考えに反論はありますか？

T: 解答例です。では、エドワードの答えを聞いてみましょう。解答例を示してくれますので、自分の答えと比べてみてください。

E: それは本当ではない。多くの人々が、外来種は在来種の動植物に悪い影響があると考えているが、これらの生態系に利益をもたらすと考えている人もいる。例えば、新しく来た種は、在来の動植物にとって食料源となる可能性がある。外来種を撲滅する前に、それらが本当に有害かどうか注意深く評価すべきだと、彼らは言っている。

■Challenge 2

T: 聞いてください。次の意見に対して、少なくとも 1 分間、反対意見を述べてください。みなさんの発言には、先ほど聞いたパッセージにあった、いくつかのポイントが含まれていなければなりません。用意はいいですか？

E: 新しい生物種を新しい生息地に入れることが、促進されるべきだ。生態系が豊かになる。より多様な生物がいれば、より豊かで、もっとわくわくする環境が創造される。同じ種の動植物、さらには昆虫を見ることに、私は飽き飽きしている。私たちには新しいものが必要だ。新しいものは私たちにわくわくさせてくれる。生物も同じく素晴らしい影響力を持っているはずだ。

T: 解答例です。では、エドワードの答えを聞いてみましょう。解答例を示してくれますので、自分の答えと比べてみてください。

E: 時に外来種は、天敵をつくるために、ある生息地にわざと入れられることがある。そしてその天敵は、有害な在来の動植物を捕食する。しかし、結局失敗に終わったという多くの事例がある。しばしば、新しい種は数が増え、生態系に悪い影響を与える。加えて、人々はそれと知らずに新しい種を持ち込む。アメリカの五大湖では、ゼブラ貝が持ち込まれて生態系に深刻な被害をもたらした。ミナミオオガシラヘビは、グアム島の鳥の数が激減した原因とされている。多様な動植物を見たければ、動物園へ行くか、彼らが自然に生息しているところへ旅行すればいい。植物の種子や動物を異なる生態系に持ち込まないよう、注意すべきなのだ。

■Closing Dialogue

T: さて、エドワード。今や君のスペースインベーダーゲームを、まさしく実際の問題を象徴するものとしてとらえているよ。侵入生物種は、新しい環境を深刻に脅かす可能性があるんだな。

E: えっと、まあ、しかし…。今日学んだレッスンは、時にはそのような侵入から得られる利益もあることを強調していたよね。

T: 僕は信じないね。基本的に、生きているものは、それ自身の生まれながらの故郷に留まるべきなんだ！

E: えーと、テツ…。私は、どうなのかな？

T: 君が、なんだって!?

E: あのね、私だって、侵入生物種だよ。ここ日本では、エイリアン(外国人)登録カードを持っているんだよ。

T: あれまあ！ 君はうまいこと我々に侵入してしたな！ うーん、レーザー銃で君を撃つ気にはなれないよ。たぶん、とにかく、それってうれしい知らせだよ。

E: まあ、そう決めてくれてうれしいよ。というわけで、それでは…

T&E: みなさん、また次回お会いしましょう！

以下の URL にぜひアクセスしてみてください。アメリカの五大湖のゼブラ貝やグアムのミナミオオガシラヘビについて、さらに知ることができますよ。

●Zebra Mussel (USGS - U.S. Geological Survey)

http://www.glsc.usgs.gov/main.php?content=research_invasive_zebramussel&title=Invasive%20Invertebrates0&

●Where Have the Birds of Guam Gone? (Smithsonian's National Zoo)

<http://nationalzoo.si.edu/animals/birds/facts/factsheets/fact-guambirds.cfm>